

北 陸 支 部 ニ ュ ー ス

News letter of Hokuriku Branch



News Letter 第46号

支部大会

開催日：2025年4月25日（金）

～5月2日（金）まで

開催場所： メール審議

主催 公益社団法人 日本セラミックス協会 北陸支部



公益社団法人 日本セラミックス協会

公益社団法人日本セラミックス協会北陸支部

News Letter 第46号について

目 次

1. 支部長あいさつ	富山大学 佐伯 淳	1
2. 令和6年度 事業報告		2
3. 令和6年度 決算報告ならびに監査報告		3
4. 第 27 回北陸支部秋季研究発表会「優秀ポスター賞」受賞について		4

1. 支部長あいさつ

支部長 佐伯 淳

北陸支部会員の皆様、当初から協会の一番小さな支部として発足し、活動していましたが、近年特に実質的な会員数も減少し、新たな役員の担い手も見つけられず、運営が難しい状況が続いていました。そこで一昨年（2023 年 11 月）の会長と支部長・部会長との意見交換会で今後の支部運営についての課題提起を致しました。その後、支部長・部会長会議等で支部構成の見直し含めて議論をし、最終的には東海支部と北陸支部を統合する方向で検討してきました。昨年 10 月に東海支部・北陸支部統合準備委員会を作り、具体的な統合内容、計画について議論し、2025 年 6 月 5 日（木）のセラミックス協会の第 100 回定時総会での承認をもって、現在の東海支部と北陸支部が統合して、東海北陸支部として活動することになりました。今まで北陸支部を支えてくださった、企業、各機関、個人会員、および学生の皆様どうもありがとうございました。今後は東海北陸支部の会員として活躍を続けると共に、皆様のますますの発展を期待します。

2. 令和6年度 事業報告

年月日	行事名	会場	内容	出席者
5月24日	令和6年 定期 北陸支部大会	石川トライアルセ ンター	令和5年度事業報告および決算報告の承認 令和6年度事業計画及び予算案の承認	9名
5月24日 春季講演会 於:石川トライアルセンター 14:30～16:30				
特別講演 1) 機械学習を活用した半導体式センサの開発 ～プロセスインフォマティクスによるセンサ素子の設計とシグナル解析 産業技術総合研究所 主任研究員 伊藤 敏雄 氏 2) 令和6年能登半島地震における地形変化 富山大学都市デザイン学系 准教授 安江 健一 氏				
8月28日	幹事会	オンライン会議	1. 令和6年11月の北陸支部 秋季研究発表会について 2. 年会優秀ポスター選考委員の選出について 3. 各賞の推薦について	20名 8名
6月28日 7月5日 7月12日 7月19日	市民講座	富山大学	七宝焼教室	10名
11月22日 秋季研究発表会 於:石川県地場産業振興センター2F 研修室 13:00～17:00				
(1)研究発表 印刷法による配向性厚膜パターン作製手法の種々の圧電材料への適用 (富山県産業技術研究開発センター) 坂井 雄一, 柳原 康平, 七谷 佳祐 (2)特別講演 「SDGs に資するセラミックスのつくりかた」 名古屋工業大学先進セラミックス研究センター 准教授 白井 孝 氏 (3)ポスターセッション 発表 18件 (内 優秀ポスター賞 2件)				
(40名)				
R7 2月1日～ 2月10日	臨時支部大会	メール審議 投票	東海支部と北陸支部の合併にかかる審議	12名
4月25日 ～5月2日	令和7年 定期 北陸支部大会	メール審議	令和6年度事業報告および決算報告の承認 令和7年度より東海北陸支部として本部総会にて承認の予定	

3. 令和6年度 決算報告ならびに監査報告

収入の部

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	691,216	691,216	
事業費			
講演会 会費	15,000	0	
研究発表会 会費・広告収入	15,000	0	
小 計	30,000	0	
管理費			
本部配布金	149,000	147,000	
支部援助金	40,000	0	
その他(利息、寄付)	6	363	
懇親会(講演会)	50,000	39,000	6名×6,500円
懇親会(研究発表会)	50,000	0	
小 計	289,006	186,363	
合 計	1,010,222	877,579	

支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
事業費			
講演会事業費	150,000	165,798	謝金、ニュースレター等
研究発表事業費	160,000	76,287	謝金、交通費、賞状、会議室代等
市民講座	20,000		
小 計	330,000	242,085	
管理費			
旅費交通費	100,000		
通信費	2,000		
印刷製本費	60,000		
消耗品費	10,000		
インターネット関連費	22,110	23,375	Zoom年会費
雑費(会議費含む)	2,000	880	雑費、振込手数料
懇親会(講演会)	100,000	52,000	8名×6,500円
懇親会(研究発表会)	100,000		
小 計	396,110	76,255	
次年度繰越金	284,112	559,239	
合 計	1,010,222	877,579	

監査報告

帳簿及び領収書を監査いたしました結果、上記決算書記載の通りで、領収書も完備し良く整備されており間違いない事を認めます。

公益社団法人 日本セラミックス協会北陸支部 監事

令和 7年 4月 4日

松田 健一 

北川 賀津一 

4. 第27回 北陸支部秋季研究発表会「優秀ポスター賞」受賞について

北陸支部秋季研究発表会ポスター発表の一層の活性化、若い世代のポスター発表者の研究活動の奨励を目的に、日本セラミックス協会北陸支部は「優秀ポスター賞」を設けています。令和6年11月22日（金）に石川県地場産業振興センターにおいて第27回日本セラミックス協会北陸支部秋季研究発表会を開催しました。学生ポスター発表は18件あり、北陸支部における審査委員が厳正に審査し選考した結果、下記の学生に「優秀ポスター賞」を授与することになりました。

記

Caroline Paschoal Fernandes (Univesrity of Sao Paulo / Kanazawa Institute of Technology)

「Optically Stimulated Luminescence in silver-doped sodium borate glass」

Optically Stimulated Luminescence (OSL) properties of sodium borate glass materials doped with different Ag concentrations were investigated. The OSL refers to luminescence emitted upon light stimulation after radiation exposure. All samples showed OSL signal in the UV region while stimulated at 450 ± 20 nm, and the highest sensitivity was confirmed when the doping concentration was 0.5%. Knowing that there are only two commercial OSL materials available today, this research will expand the range of materials and knowledge, aiding future OSL studies.



重村 侑輝 (北陸先端科学技術大学院大学)

「Cr³⁺添加 Ca₃Sc₂Si₃O₁₂ における深赤色発光の圧力依存性」

近赤外分光分析法は、医療分野や農業分野において、成分の定性分析や定量分析の非破壊検査に用いられている。近年、近赤外光源の高効率化・小型化に向けて蛍光体変換型広帯域近赤外 LED の開発が期待されており、高発光効率・広帯域で様々な発光波長を有する近赤外蛍光体が求められている。近赤外蛍光体として有望な Cr³⁺蛍光体の光物性は、置換するカチオンサイトの幾何学的構造と化学的性質に影響される。本研究では、800 nm 付近に近赤外広帯域発光を示す Cr³⁺を添加した Ca₃Sc₂Si₃O₁₂ ガーネット結晶を作成した。得られた試料についてダイヤモンドアンビルセルを用い物理的な圧縮を加えた時の発光スペクトルの変化を詳細に調査し、発光メカニズムについて議論した。



以上

北陸支部ニュース

News letter of Hokuriku Branch

News letter 第 46 号

©日本セラミックス協会 1996

発行日：2025 年 5 月 24 日

発行人：会長 村田 恒夫

公益社団法人 日本セラミックス協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17

TEL:03-3362-5231(代) FAX:03-3362-5741

編集者：支部長 佐伯 淳

公益社団法人 日本セラミックス協会 北陸支部

〒930-8555 富山県富山市五福 3190

富山大学 学術研究部都市デザイン学系 内

TEL:076-445-6828 FAX:076-445-6828